

一 般 質 問 通 告 書

2025年8月25日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 11番 福井 節子

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

・質問番号1の用紙にだけご記入ください。

・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 2) 発 言 事 項	マキノ小学校の統廃合と新築は、住民合意を
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
6月議会に続き、マキノ小学校課題で質問致します。 市民3名からの請願も提出された6月議会では、200名越える賛同署名も提出されました。残念ながら議会での採択とはならず残念な結果でしたが、マキノの皆さんの声は変わっていないと思っています。そこで続けてですが、前市政から変わった今城市政でのこの課題、財政難の下、人口減少や少子化が進む中での公共施設の在り方など、いろんな角度からしっかり定めていく必要性を感じ、質問致します。 6月議会では4点、 1 丁寧な説明と住民の理解を得る手立ての必要性について 2 3小学校の統合等の決定協議について 3 廃校後の跡地利活用について 4 新小学校校舎建設費と3小学校の1校を改修しての費用比較について この4点で質問致しました。 そうした中で、市民から請願が提出され議論されたところです。	

請願内容は、「話し合いを尽くし、住民合意を得て進めて欲しい」旨の事でしたが、8月の全協の説明では「話し合いは十分に済ませ、開校は10年4月と決まっています」旨の市教委の説明でした。そこで、以下問います。

- 1、 「令和10年4月の新築開校を決定事項とされて、強引に進めて良いのか」との疑問を呈する市民の、少なくない声があります。新築するのか、既存の学校の改修か、市民を納得させる説明が尽くされていないのではないのでしょうか。事実上、いま、一旦立ち止まっている状況です。この際、市民の多数が、納得出来る方向性をしっかり示し、議論を尽くし進めるべきではないのでしょうか。
- 2、 今、議論している学校は、マキノの子ども達の大切な成長と教育の場です。小学校の将来の在り方が問われている今、早く建てることよりこの時間を大切に、しっかりとした話し合いの時間を通じて、納得出来る「良かった」と言えるより良い学校づくり、環境作りに私たち大人は責任を果たすべきではないのでしょうか。